

第1期 国分寺市公民館運営審議会 平成28年度第14回定例会 要点記録

日時 平成28年9月12日（月）午後4時～5時30分

場所 国分寺市立本多公民館 講座室

出席者

委員 佐藤委員長・田中(英)副委員長・門委員・長谷部委員・橋本委員・萩原委員・戸澤委員・大澤委員・北邑委員・伊藤委員・田中(雅)委員

職員 山崎公民館課長兼本多公民館長・秋元恋ヶ窪公民館長・加藤光公民館館長・豊泉もとまち公民館長・本望並木公民館長・齋藤本多公民館事業係長・木場主任

1 連絡事項

(1) 配布資料確認

(2) 第13回定例会要点記録⇒本日配布している。9月20日までに確認し、修正等がある場合は 連絡をいただきたい。

2 報告事項

(1) 平成28年国分寺市議会第3回定例会について

事務局：「くぬぎ教室」について一般質問と資料請求があった。（請求資料：「くぬぎ教室」の過去5年間の参加実績及び市内総数に対する参加率）今議会はこの後、文教子ども委員会があるが、公民館は議案・報告事項は特にない。あと決算特別委員会が月末にあり、平成27年度予算執行について審議する。

(2) 平成28年度第7回第8回国分寺市教育委員会について

事務局：第7回では、公民館全館で夏季に取り組んだ事業を報告した。（「原爆パネル展と折り鶴づくり」「ジュニアサロン夏季自習室」）第8回では、平成27年度教育委員会教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価について審議し、承認をいただいた。内容は、後日配付した際に説明する。

(3) 施設予約システムの導入について

事務局：国分寺市では第四次長期総合計画の中で施設予約システムを導入することになっている。市民の利便性の向上を図るための導入である。導入事業者が決まり、現在、施設を所管している担当課に対し、現行の予約方法についてヒアリングがあった。今年度準備を進め、平成29年6月にシステム稼働をする予定である。

委員長：公共施設の予約について、すべてをシステム化するのか。

事務局：国分寺市の施設を1つのシステムで予約できるようにしていく。

委員：いつも利用している施設利用者がいると思うが、市民の抵抗はないのか。

事務局：市の長期総合計画で決定していることであるが、どのようなシステム仕様になるかはまだこれから検討することである。他市でも導入しており、公民館で導入していない市は国立市と国分寺市のみである。市民の利便性の向上を考えた施設予約システムとしていきたい。

委員：便利な分、危険な要素もあると思う。公民館がただの貸し館施設になってしまわないように、注意を払って検討してもらいたい。

委員：システムは高齢者には使えないのではないか。

委員：今まで施設の利用については、月に1回集まり、話し合いによって平準化できた。パソコンに対する拒否感がある。いろいろな施設をシステムによって知ることになり使えるメリットもある。市民には様々な意見があると思うので、周知徹底してほしい。

委員：公民館の実際の利用状況とは違うのではないか。1つのコマをグループでシェアすることができていたと思うが、できなくなるのではないか。

委員：先着順になるのはいかがなものか。例えば、Aという部屋には3倍の予約があるとなったら、他の部屋に変更できるようにしてほしい。

委員：利便性が高いので導入していくことになると思うが、市民の意見を組み取ってほしい。

委員：時間のコマを考えてほしい。ホールなどはある程度長時間になると思うが、会議室は細かい時間で利用できるようにしてほしい。

事務局：現在、ヒアリングを受けたところである。今後どういう形で導入するのがいいか検討していく。公民館としていい形で導入できたらと考えている。

委員：市民説明会など意見を聞いてもらえる機会を検討してほしい。

事務局：どのように公民館にシステムを導入できるかを考えていく。

委員：導入ありきではないのか。

事務局：導入することは決まっているが、どのようなシステムが導入されるのかはまだこれから検討し決めていく。

3 協議事項

(1) 答申について

事務局：資料1に基づき説明。

委員長：すでにこの間の審議の中で報告されてきた実践の取りまとめや総括、今後を見据えた課題などを書いていただきたい。例えば、地域会議は今後どのような形で公民館にあるのがよいのか、現在より良くしていくためにはどうしたらいいのかなど、振り返りと総括を入れてほしい。全体の文書の修正は委員長と田中（雅）委員で進める。ワーキンググループごとの報告は、11月12月にしてもらおう。レシユメ形式でもいいので、まとめていただきたい。1月17日の定例会には、全体的な素案ができるようにしていきたい。

事務局：ワーキンググループの担当委員を再度確認していただきたい。

委員長：再確認をする。人数の少ないグループに入れる方がいればお願いしたい。第5グループに長谷部委員を追加する。

委員長：今後のスケジュールとしては、当初定例会を予定していた10月18日は定例会を行わず、ワーキンググループで検討する日に当てる。次回以降、11月15日には第1と第4グループの報告、12月20日に第2と第5グループ

プの報告，1月17日に第3と第6グループの報告を行う。

委員：絵や図を入れてもいいか。

事務局：答申に絵・写真・図・表などを入れることは可能である。

委員：どのくらいの文量になるのか。A4でいうと何ページぐらいか。

事務局：ワーキンググループが検討するカテゴリーごとにA4で4ページぐらい，各館の公民館運営サポート会議ごとにA4で1ページぐらいを考えている。総ページ数をどのぐらいにするか，素案ができてから微調整することになると思う。

(2) 管外研修について

委員長：急いで検討する必要があるか。

事務局：年度内には実施する必要があるが，本日の決定というわけではない。

委員長：答申との関係も含め，各委員それぞれ考えておいていただきたい。

(3) 教育委員との懇談会について

事務局：10月27日（木）の午前11時から1時間程度で，教育委員会の委員との懇談の予定になっている。例年，テーマを決めて話し合いをしている。

委員長：当初予定の10月18日に定例会がなくなったため，テーマについては事務局に一任するのでよろしいか。では考えていただく。

4 その他

委員：東京都公民館連絡協議会の委員部会の研修を9月3日（土）に東大和市中央公民館で開催した。研修テーマは「生涯学習と社会参加 現代の公民館の新たな可能性を考える」で，講師は佐藤一子委員長にお願いした。当日は長谷部委員，橋本委員，萩原委員，戸澤委員，大澤委員が参加し，また職員も参加していた。

事務局：東京都公民館研究大会を平成29年1月21日（土）に福生市で開催する。

詳しくは募集要項が届き次第お知らせする。予定しておいていただきたい。

委員長：次回は11月15日（火）午後3時30分から定例会を行う。以上で本日は終了する。